

「土づくり」は 良食味・高品質米生産の第一歩です!!

平成25年産米生産に向け「秋すき込み」「堆肥等の施用」を実施しましょう。

1. 土づくりの効果

- ✓ 異常気象条件（高温、干ばつ、冷害等）に対する稲の抵抗性が向上します。
- ✓ 保水性や生育後期の窒素供給力が増すなど、登熟向上による良食味・高品質米の生産につながります。

2. 土づくりは「秋すき込み」から

- ✓ 稲わらは土壌微生物によって分解され、「地力窒素」となります。
- ✓ 稲わらを分解する土壌微生物は地温が15℃以上で活発に働くため、収穫後地温が高いうちに、できるだけ早く実施することで効果が高まります。
- ✓ 秋に稲わらをすき込むことにより、フキ（メタンガス・硫化水素）の発生が抑えられ、根腐れ等の生育傷害を軽減することができます。

! 秋すき込みのポイント

- ✓ 地温が高いうちにできるだけ早く行いましょう。
- ✓ 作業効率、土壌微生物への酸素供給などを考慮し、5～10cmの浅うちにしましょう。

3. 堆肥、土づくり資材の施用で良食味・高品質生産

- ✓ 有機センター堆肥
 - 10a当たり400～800kgを基本に秋期に散布しましょう。
 - 〔価格〕 1㎡・トンパック（約400kg） → 2,650円
 - 〔散布料金〕 2,500円/10a
 - 〔問い合わせ〕 魚沼市有機センター（794-6688）、農林課農政室（799-3485）
- ✓ 土づくり資材
 - 秋期・春期いずれも散布できます。
 - 〔散布例 1〕 土壌分析で鉄が不足している圃場
魚沼ロマンアイアンスター（りん酸・けい酸・苦土・鉄・腐植酸を含む総合的な土づくり肥料）60～80kg/10a
 - 〔散布例 2〕 魚沼地域専用の低コスト土づくり肥料
魚沼ロマンソイルキーパー（りん酸・加里・けい酸・苦土・腐植酸を含む総合的な土づくり肥料）40～60kg/10a